

チーム一中



やまゆり

一宮町立一宮中学校
 生徒数 304人(1年94名・2年102名・3年108名)
 発行者 校長 竹之内 達生
 電話 0475-42-3079

【学校教育目標】

「輝く知性と豊かな心と健やかな体を育み、
 人間性あふれる生徒の育成」

めざす生徒像

い 命を大切にし、おもいやりのある生徒 **【友情】**
 ち 力を合わせ、協力を重んずる生徒 **【団結】**
 の のびのびと、明るく健康で体力のある生徒 **【頑強】**
 み 未来に夢を描き、意欲的に学ぶ生徒 **【夢】**
 や やる気とけじめをもち、礼儀正しい生徒 **【礼節】**

本日、公立高校出願

1 はじめに：3年生公立高校の出願

1月25日の新聞紙上に、県立高等学校の志願調査集計表が掲載されました。これは1月にとった希望調査の集計であり、正式な志願状況とは前後しますが、この集計をもとに、最終決定をし、本日2月3日、4日に生徒たちは志望校に出願します。

本校は公立を志願する生徒全てが本日出願に行きました。

前期・後期試験として実施するのも今年が最後であり、来年度からは公立高校受検は1発勝負となりますので、前期は挑戦、後期は合格の可能性が高い高校を受検する今年度までの受検とは考え方が変わってきます。

今年度に関しては、普通科は前期60%、理数科は80%、職業科は100%であり、後期は普通科40%、理数科20%の枠での受検となります。

例え前期が残念な結果であったとしても、後期合格の可能性は十分にあります。

1月25日に掲載された数値を見ると、下記の情報が載っています。

定員	志願者数	倍率
茂原 200	193	0.97
前期定員	志願者数	倍率
120	193	1.61

もし、このような志願状況で推移した場合には、前期では合格できなくても、後期もその人数のまま志願したとすれば、限りなく合格の可能性は高くなります。(但し、面接等で合格としないこともあります。)

今年の状況では、長生地区で定員に対して志願倍率が大きく超えている学校は茂原樟陽高校の農業科と食品科学、電子機械科のみであとは長生、一宮商業が若干超えているだけです。

長生高校においては近年あまりない状況になっています。本校を見ると私立単願の生徒が増えていることは1つの要因となっています。

一方、千葉市内の学校においては、軒並み1倍を超え、2倍弱の高校もあり、厳しい状況となっています。

3年生は今、成績がぐんぐん伸びてきています。先日の実力テストでも、多くの生徒の成績が向上してきています。

今日、明日の出願で最終の倍率が決定しますが、あと10日です。まずは前期で自分の志望校合格を目指して当日まで、精進してください。

成績の向上は生徒の努力と、教師と生徒の信頼関係から作られる。

2 生徒の授業評価から

1月24日(金)に学校評価アンケートを配付しました。保護者の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご回答いただきまして有り難うございます。1月31日が締め切りとなっておりますが、まだ未提出の方がいらっしゃいましたら、提出の御協力をお願いいたします。

さて、今回の学校評価では、生徒アンケートは2種類、前期と同様のものと今回は新たに授業評価をしてもらいました。

その結果の詳細はまた後日お知らせいたしますが、3年生の学力が伸びていることを示す1つのデータが、「授業アンケート」の結果に表れていました。

5教科については「授業が楽しい」「授業がわかる」「授業の進度が丁度良い」「教科の自己評価」の4点。また、技能教科は「授業が楽しい」「授業がわかる」「技能が高まった」「教科の自己評価」、総合では「授業が楽しい」「自主的に調べた」「友達と協働して進めた」「教科の自己評価」で調査しました。

データを見てもわかるように、1項目を除いて全てが90%超え、さらには社会科においては100%が「わかる」「まあわかる」と肯定的な回答をしていました。

さらには授業アンケートと別の生徒アンケートでも91.2%の3年生の生徒が「先生が熱心に教えてくれる」「先生は生徒の実態に応じて、学習や生活面の支援をしてくれた」と回答しています。

裏面にそのデータ結果を掲載しますが、ここには「生徒の努力」とそれを支えている「**生徒と教師の信頼関係**」が土台にあるのです。

まさに、「**教育は人なり**」です。

3年授業評価アンケート結果より

項目	学級	3学年合計				3学年合計	
		A	B	C	D	A+B	肯定的意見
国語	楽しい	65	32	4	2	97	94%
	わかる	73	28	1	1	101	98%
	進度	75	26	1	1	101	98%
	自己評価	48	47	7	1	95	92%
社会	楽しい	79	22	1	1	101	98%
	わかる	85	18	0	0	103	100%
	進度	78	24	1	0	102	99%
	自己評価	55	38	8	2	93	90%
数学	楽しい	56	37	6	4	93	90%
	わかる	58	35	6	4	93	90%
	進度	64	31	4	4	95	92%
	自己評価	49	41	6	7	90	87%
理科	楽しい	70	26	5	2	96	93%
	わかる	74	24	3	2	98	95%
	進度	75	24	2	2	99	96%
	自己評価	54	42	5	2	96	93%
英語	楽しい	62	31	7	3	93	90%
	わかる	71	22	8	2	93	90%
	進度	71	24	4	4	95	92%
	自己評価	52	41	7	3	93	90%
音楽	楽しい	83	15	3	2	98	95%
	わかる	82	19	1	1	101	98%
	技能の高まり	73	25	3	2	98	95%
	自己評価	69	29	5	0	98	95%
美術	楽しい	89	12	1	1	101	98%
	わかる	86	15	0	2	101	98%
	技能の高まり	77	24	1	1	101	98%
	自己評価	75	24	4	0	99	96%
技術	楽しい	83	15	3	2	98	95%
	わかる	72	25	3	3	97	94%
	技能の高まり	67	32	2	2	99	96%
	自己評価	68	33	2	0	101	98%
家庭	楽しい	74	23	4	2	97	94%
	わかる	72	26	4	1	98	95%
	技能の高まり	66	30	5	2	96	93%
	自己評価	65	34	4	0	99	96%
保体	楽しい	89	10	4	0	99	96%
	わかる	82	19	2	0	101	98%
	技能の高まり	80	21	1	1	101	98%
	自己評価	71	28	4	0	99	96%
総合	楽しい	82	15	5	1	97	94%
	自主性	67	30	5	1	97	94%
	協働性	75	22	3	3	97	94%
	自己評価	66	32	4	1	98	95%

上記のデータは3年生のものを載せてありますが、1、2年生も同様の結果が出ています。アンケートの中には「学校は最高」「学校はパラダイス」と書いてある生徒もいました。本当に嬉しい言葉が見られるアンケート結果です。

校内トピックス

4 校内の話題を取り上げます。

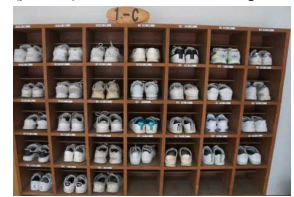
(1) 環境美化意識の定着

時折、環境美化については取り上げますが、特に、1年生が常に美しい教室環境を保っています。授業中、校内を回ってみますと、移動教室の時間があり、教室は誰もいない状態になります。

その移動教室の後、1年生はどの学級に入っても机・いす、ロッカーが整頓されています。まさに環境美化意識が定着しています。

先日のHPでも紹介しました、1年C組の環境には一人一人が意識した後が見られました。

机・いすの縦横がきちんと整い、ロッカー内・上までみんなが作り上げていることがよくわかります。靴箱も同様。素晴らしい環境です。



(2) エアコン工事が終了、各教室にはエアコンが設置されました。

昨年より行われていましたエアコン工事が全て終了。各教室にはエアコンが設置されました。

今年の夏は快適な教室環境の中で生活ができます。さらに学力向上が期待できそうですね。



(3) 時間を守り、学習を始める生徒

1月29日のHPに掲載

一宮中の生徒たちの行動を見ていて、明らかな成長を感じます。朝の登校後の行動はその1つです。

以前は8時15分に席に着くことを目指していた4月から、現在は8時10分に着座して、学習を始めている光景が当たり前になってきています。

遅れそうになった生徒もすまなそうに「すみません」と足早に教室に向かう生徒たち。意識化から習慣化・日常化に進行している生徒の姿がここにあります。



(文責 校長 竹之内達生)

